

# つばさ新聞



LINE



インスタ



## 地域連携の会を開催しました！

新型コロナウイルス感染症の流行で開催を中止していました「つばさクリニック連携の会」をこの8月に岡山、9月に倉敷にて、5年ぶりに開催いたしました。

この会は、患者さんの在宅療養を支えるために必要な「医療介護間の顔の見える連携」を目的に、開業以来開催しております。今年は数年振りの開催という事で、今まで以上の多くの方にご参加いただき、大変盛況な会となりました。ご参加いただいた皆様有難うございました。

在宅患者さんの「思い」を支える為には、多職種が連携しながら切れ目なくサポートすることが何よりも大切だと考えております。この会が、地域の在宅医療の発展、そして医療介護連携の推進に繋がれば幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### 岡山 8/23(金) 会場 岡山モノリス

参加総数 105名 (22名スタッフ37名) 参加事業所数 40か所



### 倉敷 9/20(金) 会場 倉敷アイビースクエア

参加総数 153名 (22名スタッフ43名) 参加事業所数 54か所



### マイナンバーカードの保険証利用が可能になりました。

病院やクリニックの窓口で始まっていたマイナンバーカードの保険証(マイナ保険証)利用が受付窓口のない訪問診療でも使えるようになりました。マイナンバーカードを持っており、保険証との紐づけが完了しておられる方は当院スタッフが診察へ伺った際にお声がけください。

※注意：マイナ保険証を活用する際に、暗証番号の入力が必要です。  
※従来の保険証もまだ活用いただけます。

#### どう便利になるの？

- ① 過去のお薬情報などの情報を医師や薬剤師が確認できる
- ② 手続きなしで高額療養費の限度額を超える支払いが免除される  
※高額療養費制度とは、医療機関や薬局の窓口で支払った額が、ひと月(月の初めから終わりまで)で上限額を超えた場合に、その超えた金額を支給する制度です。
- ③ 医療現場で働く側の負担軽減につながる  
(①~③は、厚生労働省 HP より引用)



マイナンバー

これらの情報を開示しない選択もあります。その場合はマイナ保険証をご提示いただく際に当院スタッフへお申し付けください。

### 岡山県中央警察署にて感謝状をいただきました。

7月下旬、訪問診療の移動中に道沿いで倒れていた男の子を保護したことに対して、松田医師、則保看護師、後藤アシスタントの3名が岡山県中央警察署にて感謝状をいただきました。



### JMAT より感謝状をいただきました。

今年の元旦に発生した能登半島地震。被災地の医療的支援のため、日本医師会災害医療チーム(JMAT)として当院から11名の職員を派遣しました。その功績を認められ、JMAT本部から感謝状をいただきました。



## つばさクリニック つばさクリニック岡山

定期訪問 午前9時~午後5時 緊急往診 24時間対応

診療科目 訪問診療・内科  
循環器科・呼吸器科・整形外科  
〒710-0047  
岡山県倉敷市大島534-1  
TEL 086-424-0283  
HP: www.tsubasa-clinic.net

診療科目 訪問診療・内科・小児科  
〒700-0026  
岡山県岡山市北区幸還町1-7-7  
TEL 086-254-0283  
www.tsubasa-okayama.net



## 想いでエピソード

つばさクリニック岡山 看護師 田枝 美江

当院では、患者さんの「食べる」を支える「食支援」に力をいれています。私にとって、とても印象深かった患者さんのエピソードを紹介します。

その患者さんは50代の女性で、卵巣癌を患っておられました。余命の告知を受けておられる状況で、腸閉塞状態で腹水や嘔気もみられる中、残された大切な時間を、ご主人とお二人で自宅で過ごすことと決め、当院にご相談いただきました。その後、入院先の病院で、患者さんご本人とご主人、スタッフ、当院スタッフ、訪問看護師、ケアマネジャーなどが一堂に会して今後の在宅生活における患者さんの思いを確認するため、カンファレンスを行いました。この時に、ご主人から「大好きな料理をさせてあげたい。」、ご本人からは「主人に大好きなカレーを食べさせてあげたい。」とのお気持ちをお聞きしました。

その望みを叶えるため、病院を退院する前から準備が始まりました。ケアマネジャーさんは、日常を安楽に過ごすためのサービス計画を立て、訪問看護師さんは、しんどさがとれるように1日のうちに複数回訪問され、注射や点滴を行っていました。病院の先生も退院直前に腹水を抜き、当院も訪問時に嘔気などを落ち着けるための点滴治療を行い、少しでもしんどい症状を緩和した状態で実行することになりました。

まずは当院の管理栄養士が訪問し、お二人とカレーの材料やレシピを確認しました。カレー作りの当日、管理栄養士と一緒に私も訪問し、サポートに徹しました。患者さんにとって、台所に立ったのは3か月ぶりだったそうです。この時の事は今でもはっきりと覚えているのですが、ご本人とご主人が仲睦まじく並んでカレーを作っておられ、ご主人のために作り方を伝授しているようにも見えました。

この食支援は、お二人にとっての「日常」を過ごしてもらうための支援だったのかもしれませんが、患者さんの「食べたい」に対する支援だけでなく、患者さんの「食べさせてあげたい」気持ちに対するこの支援は私にとって、とても心に残る経験でした。この日から2か月後、ご主人やご家族、友人たちに見守られる中ご逝去されました。カレー作りだけでなく、近隣への外出など最後まで「日常」を大切に過ごされました。

患者さんにとっての「日常」を過ごしてもらうためには多くの支援者のサポートが必要だと感じています。この方に対しても私たちだけでなく、多くの医療・介護従事者が関わり、ご自宅で良い時間を過ごしてもらうために尽力していました。この仕事の使命を改めて感じたエピソードでした。



## Dr. 岡田の南極物語リターンズ



### 第19回：歯が・・・

1月15日朝、昨日までの地吹雪が収まってきたこともあり、出発準備をしていた矢先、いきなり僕の歯の被せが外れてしまいました。南極では気圧や気温の影響から、歯のインレー（詰め物）が取れることが多いため、昭和基地では歯科治療用材料が常備されています。僕自身も医療隊員として歯の治療ができるよう、国内で研修を受けていました。しかしここは昭和基地から遠く離れた南極大陸。しかもドーム隊には歯科治療用の物資は持ち込んでいませんでした。このままでは唯一の楽しみである食事を美味しく摂ることができません。

ここで思いついたのが、接着剤のアロンアルファ。医療用は、持ち合わせていなかったため、機械隊員にお願いして1本譲り受けました。まずはしっかりと歯を磨いた後、患部をイソジンで消毒。被せの内側にアロンアルファを塗り、鏡を見ながら恐る恐る歯に近づけました。一瞬指がくっついて慌てましたが、ずれることなく装着に成功しました。実はこの歯の被せ、その後日本に帰るまで、一度も外れることはありませんでした。何が起るかわからない南極。ただし、やり方を工夫すれば何とかなる、そう思えたエピソードでした。最終ゴールのS16地点まで残り300km。ここからラストスパートが始まります。



在宅生活をサポートする  
医療・介護サービスのご紹介

福祉用具



ENテクノサービス 代表取締役 岩田 成矢

#### サービスの紹介

ENテクノサービスでは、福祉用具のレンタル・販売、住宅改修を行っています。私たちは福祉用具の活用を通して、利用者さんや患者さんが「したいことを諦めなくていい」ように、ポジショニングや車いすシーティングを通して、姿勢づくりをご提供しています。寝たきりの方や頸椎損傷、神経難病の方からの依頼をよくお受けしております。

#### 事業所の特色

前事業名「アークテクノサービス」を名称変更し、「ENテクノサービス」として2024年10月より再スタートしました。

モノにヒトを合わせるのではなく、ヒトにモノを合わせる事が私たちのポリシーです。ただ、私たちはモノのプロフェッショナルではありませんが、医療や介護の専門職ではありません。そのため訪問診療や訪問看護、訪問介護といったそれぞれの専門職と密に連携し、根拠のある姿勢づくりを心がけています。姿勢にお悩みの方、ぜひ一度ご連絡ください。



EN株式会社  
ENテクノサービス  
〒700-0972  
岡山市北区上中野1丁目19-18  
TEL 086-250-2555